

コミュニティバス改善に向けた意見交換会（飯豊地区）

2010年11月25日 18:00～ 飯豊地区交流センター

前回5月の地域公共交通意見交換会の簡単な説明と現状分析の報告

- ・平成21年度に県立中部病院が開業されたことにあたってルートが変更した。
- ・1年間運行して思ったより利用者が伸びない。
- ・中部病院に直接つないだことによってどうしても経費がかかった。
- ・経費にかかる運賃収支率3割にも満たない。
- 5月から11月までの間 市とNPOと事業者と検討を続け、利便性と経済性の両面から検討し、継続的な仕組みを構築するというコンセプトのもとに、改善案を作成した

乗降調査結果

（実施日：2010年7月12日～16日 4日間）

飯豊の乗降が多かったところ＝中部病院前、奥寺神社前、門屋、飯豊保育園前。

月・木の黒岩立花から来る便は、特に乗降数が多いようです。

地域から乗る人はどこへ行くのか？

- ・飯豊1（中部病院前まで）
月・木の便は、飯豊地区内の移動もありますが、9割が黒沢尻地区に行っています。火・金は飯豊地区内の移動もそれほどなく、全体的な利用数も少ないようです。
- ・飯豊2（中部病院前から飯下公民館前）
黒沢尻地区、江釣子地区に行く方が多いよう。

よく使われる時間帯

まちなかに向かうのは朝方の利用が多く、中部病院から江釣子SCの間に関しては午後の利用が多い。飯豊2地区は、まちなかへ行くために利用し、飯豊1地区は中部病院から帰るために利用している方が多い傾向があります。

利用者の特性

江釣子から中部病院までの利用に関しては4分の3が女性、飯下公民館前から中部病院までは9割近くが女性です。年齢は70歳以上の方

が6割を占めています。比較的、年齢が上の方が多く利用されているようです。

利用目的

他地区は通院に使われている事が多いが、飯豊地区は買物で利用されることが多いのが特徴です。中部病院から流通センター前で乗る方は江釣子SCに行かれる方が多い。

飯豊2地区に関しても江釣子SCや黒沢尻に行く割合がとても高い。

通院の割合が低いのが飯豊地区の傾向です。

利用頻度

飯豊は週4便通っている中で、週に1回以上定期的に使われている方が多い。

バス停から自宅までの距離

バス停までの距離が5分以上あっても歩いて使われている方が多い。特に飯豊1地区はバス停までの距離が遠くても利用されているのが特徴です。

収支予測

21年度の実績収支率28%であります。

現状3割しかない収入を今後、経営改革の基準にもあるように5割まで高めていきたいと考えています。

改善案（素案）

運輸局への手続きが2ヵ月前に必要な為、1月末に運行方針を決定したいと思います。

- ・幹線的区間（中部病院～黒沢尻2丁目、週4日運行）と支線区間（その他、週2日運行）に分ける。

- ・運行は2ルートとし原則曜日変更なし

飯豊立花黒岩線：月、木曜日

二子更木線：火、金曜日

- ・同一ゾーン内での利用を100円から50円引き上げて150円へ。

- ・街なかの回り方の変更 立花黒岩線 珊瑚橋～日高見～ロックタウンを經由（4km延長）

意見交換

説明後、意見交換が行われました

実際バスに乗って利用している人の意見は聞いてとりまとめているのか？

バス停で利用されている方のご意見を伺っています。今回は利用されている方プラスアルファの方々が乗らないと維持をしていくのは難しいので、みなさんにもご意見をいただきたいと思っています。

北上市コミュニティバスの運行改善案（素案）の運行ルートの中にオレンジの点線になっている路線があるが廃止なのか？

二子地区は距離が長く、収支率が悪くなっているため、どのようなルートが良いか今、案を示して二子地区と協議しているところです。距離が長いと乗っている時間が長いので利便性が悪いと考えている。

飯豊地区は月・木だけの運行になると、月曜日は祝日が多いので火曜日に振替はできないのか？

考えていませんでした。システム的なお話をすると今、コミュニティバスは2台で動いています。振替をするととなると3台目のバスが必要となるのでシステムは考えなければいけない。ダイヤも見ないとわからない為、検討してみないといけない。こちらで危惧しているのは、振替をするとお年寄りがわからなくなる恐れがある。

もっと延ばしてほしい、区間をつけたして欲しいということは無理なのか？

バスの需要がある所ならいいが、2~3人しか乗らない所を延ばしたり、バスを3台にするのは厳しい。

老人は医療費も上がり、何度も利用するとなれば50円アップは大変だと思う。運賃の50円アップはどうしても必要？

値上げに関して反対の意見は想定していました。利用者が多いまちなかへ行く分に関して値上げはしないのでご了解願えればと思います。コミュニティバス全体を成り立たせるためには必要と考えます。150円の区間を決める議論の余地はあると思います。財政的に厳しいという事だけで値上げに

なるのか？

補助金を入れないとコミュニティバスを走らせるのは難しい。世代間の不公平感もありますし、今までその基準が曖昧だったのではっきりさせて、補助金を5割で維持していこうと考えています。

値上げして赤字を穴埋めすることを考えるよりも、値上げによって利用者が減ることを考えるべきではないか？

まちなかの利便性を高めることで、収支の改善につなげていきたいと考えています。

特に、黒沢尻地区の利用者を増やしたいと考えています。

・コミュニティバスがどこを運行しているかわからないという方に、どこのバス停留所で下りれば何の病院があるというご案内など、この辺はコミュニティバス運行の改善内容が固まりましたらまた改めます。

・利用促進については地域の皆さんと一緒に考えていきたいなと思います。

・乗降時間を分かりやすく示した地域ごとの資料を皆さまに渡し、利用促進もしていきたいと考えています。

